

調査票の記入のしかた

【06】医療、福祉

総務省
経済産業省

- ◆ 調査票には、事業所の名称・電話番号・所在地などが、あらかじめ印字されています。これらは、事業所における記入負担を少しでも軽くするため、「平成21年経済センサス-基礎調査」等の結果をもとに印字したものです。
- ◆ 調査票は、**黒色の筆記具（ボールペン、鉛筆など）**ではっきりと記入してください。記入した内容を訂正する場合は、二重線で消すなどして訂正してください。
- ◆ 調査票を提出する前に、記入もれや記入誤りがないか、もう一度、ご確認ください。調査票の記入内容について、後日、おたずねさせていただく場合があります。

調査票を記入する際に参照するページは 以下のとおりです

第1面

The first page of the survey form is divided into several sections. Section A (red) covers the top part, including name and phone number. Section B (green) covers the middle part, including sales and expenses. Section C (blue) covers the top right part, including business type sales. Section D (orange) covers the bottom middle part, including main business content. Section E (light blue) covers the bottom right part, including equipment investment and fiscal year.

- A 1 名称及び電話番号 ～ 5 従業者数
- B 6 売上（収入）金額、費用総額及び費用内訳
- C 7 事業別売上（収入）金額
- D 8 主な事業の内容 ～ 9 電子商取引の有無等
- E 10 設備投資の有無及び取得額 ～ 14 決算月

第2面

The second page of the survey form contains sections F and G. Section F (red) covers the top part, including medical and welfare income details. Section G (blue) covers the bottom part, including business status and main business content.

- F 15 医療、福祉事業の収入の内訳 ～ 16 医療、福祉事業の収入の相手先別収入割合
- G 17 事業所の形態、主な事業の内容

- 調査票の記入方法などについて、ご不明な点がございましたら、コールセンターにお問い合わせください。

経済センサス-活動調査コールセンター

0120-44-1034（通話料は無料です。）

IP電話などフリーダイヤルに接続できない場合：03-6830-1034（有料）

- 調査員への連絡が必要な場合には、市区町村にご連絡ください。

紙へリサイクル可

1 名称及び電話番号

- 名称は、略称ではなく**正式名称**（法人の場合は登記上の**名称**）を記入してください。

法人の名称には、法人の種類も記入しますが、以下の（ ）書きのように省略しても差し支えありません。

- 株式会社 → (株) 宗教法人 → (宗)
- 有限会社 → (有) 医療法人 → (医)
- 合名会社 → (名) 社会福祉法人 → (福)
- 合資会社 → (資) 農業協同組合 → (農協)
- 合同会社 → (同) 漁業協同組合 → (漁協)
- 学校法人 → (学) 生活協同組合 → (生協)
- 公益、一般、特例財団法人 → (財)
- 公益、一般、特例社団法人 → (社)

- 名称を特にもたない個人経営の事業所の場合は、事業主の氏名を記入してください。

- フリガナは、**カタカナ**で記入してください。英数字、ひらがな、カタカナなどの漢字以外の部分についても**フリガナ**を記入してください。

ただし、“株式会社”などの法人の種類を示す部分のフリガナは記入不要です。

2 所在地

- 事業所固有の郵便番号をもっている場合は、その郵便番号を記入してください。

- 番地・号については、例えば、「3丁目2番1号」を「3丁目2-1」のように記入しても差し支えありませんが、「丁目」の部分は「-」などで省略せずに記入してください。

- 例) ○ 若松町3丁目2番1号
○ 若松町3丁目2-1
× 若松町3-2-1

- ビルなどの中にある事業所の場合は、「ビル・マンション名等」欄に**そのビルの名称と階**（マンションの場合は、**号室**）を記入してください。

- 他の事業所の構内にある場合は、「ビル・マンション名等」欄に「**〇〇事業所構内**」（**〇〇は入居先の事業所名**）と記入してください。

3 経営組織

- 個人が共同で事業を行っている場合も「個人経営」になります。

- 外国の会社は、外国に本所がある会社になります。外国の資本が参加している、いわゆる、「**外資系の会社**」は「**外国の会社**」には該当しません。

記入上の注意

「フリガナ」欄は正式名称に変更がある場合のみ記入してください。

1 名称及び電話番号 ●印字されている内容に変更がある場合は、二重線で消して修正してください。 ●法人の場合は登記上の名称を「正式名称」欄に記入してください。 ●屋号など通称名がある場合は「通称名」欄に記入してください。	フリガナ トウケイクリニック	正式名称 (医)統計診療所 (医)TOKEIクリニック	通称名
	電話番号(代表) (03) 9876 - 4321		
2 所在地 ●印字されている内容に変更がある場合は、二重線で消して修正してください。 ●他の事業所の構内にある場合は、その事業所の名称を「ビル・マンション名等」欄に記入してください。	郵便番号 162-0066	都道府県名 東京都	市区町村名 新宿区
	町丁・字・番地・号 若松町3丁目2番1号		ビル・マンション名等(階、号室まで記入してください) 若松第3ビル 2階
3 経営組織 ●該当する番号を○で囲んでください。 ●会社以外の法人：財団・社団法人、学校・宗教・医療法人、協同組合、信用金庫等 ●法人でない団体：法人格のない労働組合、後援会、協議会等	1 個人経営	2 株式会社 有限会社	3 合名会社 合資会社
	4 合同会社		5 会社以外の法人
4 開設時期 ●開設時期に○囲みの印字がない場合は、現在の場所で事業を始めた時期の番号を○で囲んでください。	1 昭和59年以前	2 昭和60~平成6年	3 平成7~16年
	4 平成17年	5 平成18年	6 平成19年
5 従業者数 ●2月1日現在の従業者数を記入してください。 ●「①個人業主」：個人経営の事業主で実際にその事業所を営んでいる人 ●「個人業主の家族で賃金や給料を受け取っている場合は「常用雇用者」となります。 ●「③有給役員」：個人経営以外で役員報酬を得ている人 ●「常用雇用者」：以下のいずれかに該当する人 ・期間を定めずに雇用している人 ・1か月を超える期間を定めて雇用している人 ・平成23年12月と24年1月にそれぞれ18日以上雇用している人 ●「⑥臨時雇用者」：1か月以内の期間を定めて雇用している人や日々雇用している人	7 法人でない団体		8 開設月 平成23年 月 平成24年
	(1) 貴事業所に所属する従業者数		
① 個人業主			10 女
② 個人業主の家族で無給の人			
③ 有給役員 (無給役員は除く)			
常用雇用者			
④ 正社員・正職員などと呼ばれている人			
⑤ 上記以外の常用雇用者 (パート・アルバイトなど)			
⑥ 臨時雇用者 (⑤以外のパート・アルバイトなどを含む)			
⑦ 合計 (①~⑥の合計)			
⑧ ⑦のうち、別経営の事業所へ出向又は派遣している人 (送出者)			
(2) (1)以外で、別経営の事業所からきて貴事業所で働いている人 (受入者)			
⑨ 出向			
⑩ 派遣			

4 開設時期

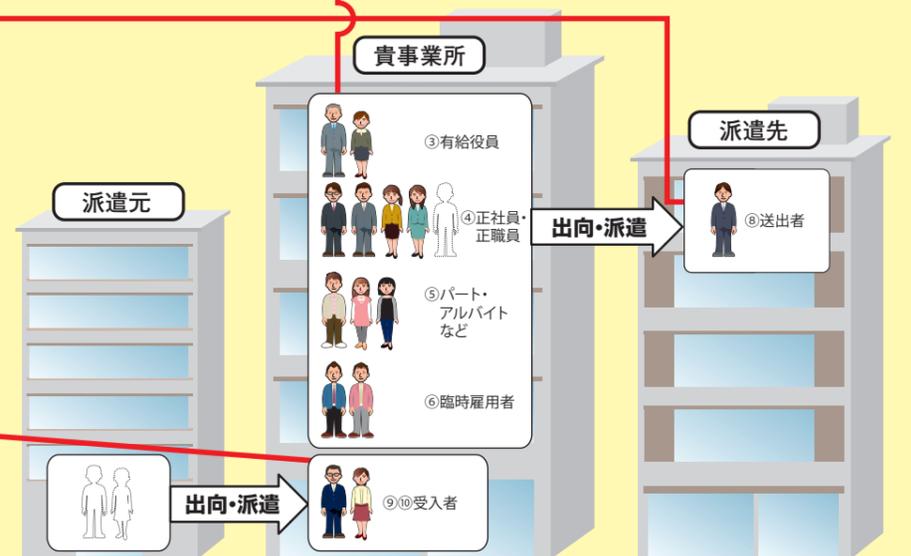
- 会社や企業の創業時期ではなく、**貴事業所が現在の場所で事業を始めた時期**を記入してください。

- 以下の場合、**その時期を開設時期**としてください。
 - ・ 個人経営の事業所で、経営権の譲渡により経営者が交代した場合ただし、相続により引き継いだ場合は該当しません。
 - ・ **個人経営の事業所が株式会社になった場合**
 - ・ 法人が新設 (対等) 合併した場合
 - ・ 法人が分割により設立された場合

5 従業者数

- 従業者数は、平成24年2月1日現在の従業者数を、区分ごとに記入してください。

① 個人業主	○ 個人が共同で事業を行っている場合は、そのうちの一人を個人業主とし、他の人は「④正社員・正職員などと呼ばれている人」としてください。
② 個人業主の家族で無給の人	○ 個人業主の家族で、賃金や給与を受けずに、常時従事している人 ○ 家族であっても、実際に雇用者並みの賃金・給与を受けている人は、「常用雇用者」に記入してください。
③ 有給役員 (無給役員は除く)	○ 法人の取締役、理事などで役員報酬を得ている人 ○ 無給役員は従業者には該当しません。
常用雇用者	○ 以下のいずれかに該当する人 ・ 期間を定めずに雇用している人 ・ 1か月を超える期間を定めて雇用している人 ・ 平成23年12月と平成24年1月にそれぞれ18日以上雇用している人
④ 正社員・正職員などと呼ばれている人	○ 一般に正社員・正職員などと呼ばれている人
⑤ 上記以外の常用雇用者 (パート・アルバイトなど)	○ 「契約社員」「嘱託」「パートタイマー」「アルバイト」など正社員・正職員以外の人
⑥ 臨時雇用者 (⑤以外のパート・アルバイトなどを含む)	○ 1か月以内の期間を定めて雇用している人や日々雇用している人など「 常用雇用者 」の定義に 該当しない人
⑦ 合計	
⑧ ⑦のうち、別経営の事業所へ出向又は派遣している人 (送出者)	○ 労働者派遣法という派遣労働者のほかに、在籍出向など貴事業所に籍を置いたまま、他の会社など別経営の事業所で働いている人
⑨ 出向	○ 在籍出向など出向元に籍を置いたまま、貴事業所で働いている人
⑩ 派遣	○ 労働者派遣法という派遣労働者で、貴事業所で働いている人 なお、別経営の事業所から業務請負により貴事業所の一区画で働いている人は、派遣されている人には含まれません。



「3 経営組織」が「個人経営」の場合は左ページの下表を、「個人経営以外」の場合は右ページを参照してください。

記入上の注意

金額は万円単位で記入してください。
(万円未満を四捨五入してください。)
「¥」記号は記入しないでください。

以下の金額を記入する欄について
・消費税込みで記入してください。経理処理上、税込みで記入できない場合は、右の□にチェックし、税抜きで記入してください。 →
・平成23年1月から12月までの1年間（この期間で記入できない場合は、平成23年を最も多く含む決算期間）の決算について記入してください。

6 売上（収入）金額、費用総額及び費用内訳	個人経営						個人経営以外									
	百億	十億	億	千万	百万	十万	万円	千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万円	
① 売上（収入）金額							① 売上（収入）金額					3	0	3	0	0
② 費用総額（売上原価＋経費計）							② 費用総額（売上原価＋販売費及び一般管理費）					3	0	0	8	4
費用の内訳（特掲）	③ 給料賃金（専従者給与を除く）						③ うち売上原価									
	④ 地代家賃						④ 給与総額									
	⑤ 減価償却費						⑤ 福利厚生費（退職金を含む）									
	⑥ 租税公課						⑥ 動産・不動産賃借料									
							⑦ 減価償却費									
							⑧ 租税公課（法人税、住民税、事業税を除く）									
							⑨ 外注費									
							⑩ 支払利息等									

・「調査票の記入のしかた」4ページに掲載の「確定申告」との対応表などを参照して記入してください。

6 売上（収入）金額、費用総額及び費用内訳「個人経営」

- 「確定申告」を参考にして記入することができます。
各項目と「確定申告」との対応は、下表の科目の番号を参照してください。

項目	青色申告			白色申告	
	(一般用)	(現金主義用)	(不動産所得用)	(一般用)	(不動産所得用)
① 売上（収入）金額	科目①	科目④	科目④	科目④	科目⑤
② 費用総額（売上原価＋経費計）	科目⑥＋科目⑫	科目⑫	科目⑫	科目⑨＋科目⑫	科目⑫
費用	③ 給料賃金（専従者給与を除く）	科目⑫	科目⑥	科目⑫	科目⑥
	④ 地代家賃	科目⑫	科目⑧	科目⑫	科目⑨
	⑤ 減価償却費	科目⑫	科目⑨	科目⑧	科目⑫
	⑥ 租税公課	科目⑧		科目⑤	科目①

6 売上（収入）金額、費用総額及び費用内訳「個人経営以外」

- 平成23年1月から12月までの1年間について記入してください。
※ 平成23年1月から12月までの1年間で記入できない場合は、平成23年を最も多く含む決算期間について記入してください。
※ 営業期間が1年に満たない場合であっても記入してください。
- 「法人でない団体」の場合は、「①売上（収入）金額」欄に経常収益のみを記入してください。
- 「外国の会社」の場合は、「①売上（収入）金額」欄に売上（収入）金額のみを記入してください。
- 各項目の内容は、下表を参照してください。

項目	会社	会社以外の法人
① 売上（収入）金額	・ 商品等の販売額又は役務の給付によって実現した売上高、営業収益、完成工事高などを記入してください。 ・ 有価証券、土地・建物、機械・器具などの有形固定資産など、財産を売却して得た収入は含めません。	・ 経常収益を記入してください。
② 費用総額（売上原価＋販売費及び一般管理費）	・ 売上（収入）金額に対応する費用総額（売上原価＋販売費及び一般管理費）を記入してください。	・ 経常費用を記入してください。
③ うち売上原価	・ 費用総額のうち売上原価について記入してください。売上原価は、売上高に対応する商品仕入原価、製造原価、完成工事原価、サービス事業の営業原価及び減価償却費（売上原価に含まれるもの）の合計になります。	・ 記入不要です。
④ 給与総額	・ 役員（非常勤を含む）及び従業者（臨時雇用者を含む）に対する給与（所得税・保険料等控除前の役員報酬、給与、賞与、手当、賃金等）の総額を記入してください。 ・ 別経営の事業所に出向・派遣している従業者に支給している給与を含みます。	
⑤ 福利厚生費（退職金を含む）	・ 会社負担の法定福利費（厚生年金保険法、健康保険法、介護保険法、労働者災害補償保険法等によるもの）、福利施設負担額、厚生費、現物給与見積額、退職給付費用、退職金等の総額を記入してください。	
⑥ 動産・不動産賃借料	・ 土地、建物、機械等の賃借料の総額を記入してください。 ・ 経理上売買扱いとなっているリース支払額は含みません。	
⑦ 減価償却費	・ 固定資産に係る減価償却費を記入してください。「売上原価」、「販売費及び一般管理費」それぞれに計上された減価償却費の合計になります。	
⑧ 租税公課（法人税、住民税、事業税を除く）	・ 営業上負担すべき固定資産税、自動車税、印紙税等の総額を記入してください。 ・ 収入課税の事業税（電気業、ガス業）はここに含めます。 ・ 税込経理の方法をとっている場合の納付すべき消費税については、ここに含めます。 ・ 法人税、住民税、所得課税の事業税は含みません。	
⑨ 外注費	・ 業務の一部又は全部を他の企業へ委託、下請け、その他の形式で発注した経費を記入します。 ・ 人材派遣会社への支払いも含みます。	
⑩ 支払利息等	・ 借入金等に対する支払利息等の総額を記入してください。 ※ 営業外費用に計上する支払利息等が該当します。（「②費用総額」の内数ではありません。）	・ 借入金等に対する支払利息等の総額を記入してください。

記入上の注意

金額は万円単位で記入してください。(万円未満を四捨五入してください。)
「¥」記号は記入しないでください。

7 事業別売上 (収入) 金額	事業別内訳	売上 (収入) 金額						又は割合 (%)			
		千億	百億	十億	億	千万	百万		十万	万円	
<ul style="list-style-type: none"> ● 記入に当たっては、「調査票の記入のしかた」6～7ページを参照してください。 ● 6欄「①売上 (収入) 金額」に記入した売上 (収入) 金額の内訳を記入してください。(万円未満四捨五入) ● 金額で記入できない場合は、6欄「①売上 (収入) 金額」に占める割合を記入してください。(小数点以下四捨五入) ● 社会福祉施設における宿泊施設の収入は、「(ク)医療、福祉事業の収入」になります。 ● 「3 経営組織」欄が「会社以外の法人」の場合の寄付金、補助金、運営費交付金等は行った事業の収入になります。 	(ア) 農業、林業、漁業の収入										
	(イ) 鉱物、採石、砂利採取事業の収入										
	(ウ) 製造品の出荷額・加工賃収入額										
	(エ) 商業	① 卸売の商品販売額 (代理・仲立手数料を含む)									
		② 小売の商品販売額					3	0	0		
	建設業、 (オ) サービス 関連産業 A	③ 建設事業の収入 (完成工事高)									
		④ 電気、ガス、熱供給、水道事業の収入									
		⑤ 通信、放送、映像・音声・文字情報制作事業の収入									
		⑥ 運輸、郵便事業の収入									
		⑦ 金融、保険事業の収入									
		⑧ 政治・経済・文化団体、宗教団体の活動収入									
		(カ) サービス 関連産業 B	⑨ 情報サービス、インターネット附随サービス事業の収入								
			⑩ 不動産事業の収入								
	⑪ 物品賃貸事業の収入										
	⑫ 学術研究、専門・技術サービス事業の収入										
	⑬ 宿泊事業の収入										
	⑭ 飲食サービス事業の収入										
⑮ 生活関連サービス、娯楽事業の収入											
⑯ 社会教育、学習支援事業の収入											
⑰ 上記以外のサービス事業の収入											
(キ) 学校教育事業の収入											
(ク) 医療、福祉事業の収入					3	0	0	0	0		
合 計					6	欄①の売上 (収入) 金額		1	0	0	

7 事業別売上 (収入) 金額

● 以下の例示を参考に、6欄「①売上 (収入) 金額」に記入した売上 (収入) 金額の内訳を記入してください。

(ア) 農業、林業、漁業の収入	
動植物の飼育・栽培、林木の育成・林産物の採取、水産動植物の採取・採捕を行う事業の収入	○ 農業に直接関係するサービス業務 (農作業の受託、庭園作り、花壇の手入れ等)
(カ) サービス関連産業 B	
⑩ 不動産事業の収入 土地、建物の売買・賃貸・管理を行う事業の収入	○ 不動産賃貸・管理 (土地、貸事務所、貸倉庫、貸会議室、貸家、駐車場など)
⑫ 学術研究、専門・技術サービス事業の収入	○ 研究、製品開発事業 ○ 法律、会計、税務、通訳・翻訳、不動産鑑定などの専門サービス ○ 獣医学、建築設計、測量、商品検査、計量証明、写真業などの技術サービス事業 ○ 経営コンサルタント事業
(ク) 医療、福祉事業の収入	
	○ 医療サービス及びこれに附帯するサービス (歯科用の補てつ物、矯正装置の作成、骨髄バンクなど) ○ 保健衛生事業 (健康相談事業、消毒事業、水質検査事業など) ○ 社会保険事業 (公的年金、公的医療保険、公的介護保険事業など) ○ 児童福祉事業 (保育所、児童養護施設など) ○ 介護事業 (老人ホーム、通所介護事業、訪問介護事業など) ○ 障害者福祉事業 × 調剤薬局の医薬品販売 ⇒ 「(エ) ②小売の商品販売額」 × 建物の消毒及び害虫駆除 ⇒ 「(カ) ⑰上記以外のサービス事業の収入」 × 農作物の害虫駆除 ⇒ 「(ア) 農業、林業、漁業の収入」 × 獣医学 ⇒ 「(カ) ⑫学術研究、専門・技術サービス事業の収入」 × 水質汚濁測定分析 (環境計量証明) ⇒ 「(カ) ⑫学術研究、専門・技術サービス業の収入」

8 主な事業の内容 ●印字されている場合、内容に変更がありましたら、二重線で消して修正してください。	
「3 経営組織」欄が「外国の会社」、「法人でない団体」の場合は、第1面の記入はこれで終わりです。第2面にお進みください。	
9 電子商取引の有無及び割合 ●該当する番号をすべて○で囲んでください。	① 一般消費者と行った → <input type="text" value="5"/> % ② 他の企業と行った ③ 行かなかった <small>※電子商取引とは、インターネットなどを介して成約（受発注が確定）した商取引をいい、ホームページでの広告掲載や見積もり・資料請求への対応などの商取引の準備行為は該当しません。</small>

8 主な事業の内容

- 主な事業の内容が印字されている場合は、印字されている内容に変更がないかを確認し、内容に変更がある場合は、二重線で消して修正してください。
- 貴事業所で行っている事業の内容を具体的に記入してください。
- 主な事業の内容の記入に当たっては、下記の記入例を参考にできるだけ詳しく記入してください。
※ 商品の製造、販売、賃貸等を行っている場合は、品目まで記入してください。
- 複数の事業を行っている場合は、平成23年1月から12月までの1年間の収入金額又は販売金額の最も多い事業を記入してください。

○ 主に消毒や害虫駆除を行う事業所の場合

農作物の害虫駆除
建物の消毒、害虫駆除

※ 消毒、害虫駆除の対象まで記入してください。

9 電子商取引の有無及び割合

- 電子商取引とは、金銭的な対価を伴うモノ、サービスの提供について、インターネットなどのコンピュータネットワークを介して成約（受発注が確定）したものをいいます。したがって、実際のサービスの提供がオンラインによるものである必要はありません。
- 「1 一般消費者と行った」場合の一般消費者との電子商取引の割合を記入するに当たっては、以下の主な商取引の例を参考にしてください。

【対象となる商取引の例】

物品の例： ○ インターネット・ショッピング・サイトなどに店舗し、商品を販売する場合
 ○ 自らショッピング・サイトを構築し、商品を販売する場合

サービスの例： ○ 旅行・宿泊などの予約 ○ 航空機・電車・バスなどの座席予約 ○ イベントチケットの予約
 ○ 自動車損害保険などの販売 ○ オンラインバンキング
 ○ コンビニエンスストアに設置された端末でのチケットなどの販売
※電子商取引割合に該当する金額は、一般消費者から得た収入金額（旅行代金、運賃、保険料、オンラインバンキングの手数料など）です。

デジタルコンテンツの例： ○ 映像（動画）、音楽などの販売 ○ 電子書籍などの販売
 ○ ゲームなどのオンライン用コンテンツの販売

【対象とならない商取引の例】

- × 受発注行為の準備行為に関連する見積もり、購入前調査・見積もり請求、資料請求又はカタログ請求
- × 通常、コンピュータネットワーク上で契約が完結することのないもの
 ・商取引の間に電話等の連絡・確認行為が含まれる場合
 ・対面での説明・書類提示等が必要な場合（不動産・住宅リフォーム・レンタカーなど）
- × 直接消費者と商取引を行わない広告用ホームページ開設のみの場合
 ・商品を広告するためのホームページの開設
 ・「買い物かご」による購入や予約ができない場合
 ・他のサイトにリンクしているだけの場合
- × 銀行、消費者金融のATM及び鉄道・航空・バス等の自動券売機の取引
 ・航空機、電車、バスなどのインターネットからの座席予約は対象となりますが、専用線を用いている自動券売機売り上げは対象外

記入上の注意

金額は万円単位で記入してください。(万円未満を四捨五入してください。)
「¥」記号は記入しないでください。

3 欄が法人 のみ記入	10 設備投資の有無及び取得額 ●平成23年1月から12月までの1年間に行った設備投資の有無について、該当する番号を○で囲んでください。 ●中古品は含みません。	① 設備投資を行った → ・取得額 (減価償却前の額) を記入してください。(万円未満四捨五入) 2 設備投資を行わなかった	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>千億</th> <th>百億</th> <th>十億</th> <th>億</th> <th>千万</th> <th>百万</th> <th>十万</th> <th>万円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有形固定資産 (土地を除く)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無形固定資産 (ソフトウェアのみ)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万円	有形固定資産 (土地を除く)					1	0	0		無形固定資産 (ソフトウェアのみ)						5	0	
		千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万円																					
有形固定資産 (土地を除く)					1	0	0																							
無形固定資産 (ソフトウェアのみ)						5	0																							
3 欄が会社 のみ記入	11 自家用自動車の保有台数 ●業務に使用する自家用自動車の台数を記入してください(リースで借りている車両も含みます)。	(1) 貨物自動車 ※ 人員輸送のみの使用は除きます。 <input type="text" value="0"/> 台 (2) 乗用自動車 <input type="text" value="2"/> 台 (3) バス <input type="text" value="0"/> 台																												
3 欄が法人 のみ記入	12 土地、建物の所有の有無 ●それぞれ該当する番号を○で囲んでください。	土地 <input type="text" value="1"/> ある <input type="text" value="2"/> ない 建物 <input type="text" value="1"/> ある <input type="text" value="2"/> ない	・借地、借家や関連会社名義の土地、建物は含みません。																											
3 欄が会社 のみ記入	13 資本金等の額及び外国資本比率	(1) 資本金又は出資金、基金の額を記入してください。(2) うち外国資本比率を記入してください。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>千億</th> <th>百億</th> <th>十億</th> <th>億</th> <th>千万</th> <th>百万</th> <th>十万</th> <th>万円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (万円未満四捨五入) <input type="text" value=""/> . <input type="text" value=""/> % (小数点第2位四捨五入)	千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万円																				
千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万円																							
3 欄が会社 のみ記入	14 決算月	<input type="text" value=""/> 月 (<input type="text" value=""/> 月)	・本決算月を記入してください。 ・年2回決算を採用している場合は両方の月を記入してください。																											

10 設備投資の有無及び取得額

- 「有形固定資産 (土地を除く)」には、平成23年1月から12月までに土地を除く有形固定資産に新規に計上した額を記入してください。
 - ・有形固定資産とは、建物及び附属設備、構築物、機械及び装置、船舶、車両及び運搬具、建設仮勘定、耐用年数が1年以上の工具、器具、備品及びこれらのリース資産 (売買取引と同様の会計処理をしたもの) をいいます。
 - ・建設仮勘定から振替によって計上した固定資産額は含めません。
- 「無形固定資産 (ソフトウェアのみ)」には、平成23年1月から12月までのソフトウェアに対する投資のうち、無形固定資産に新規に計上した額を記入してください。
- 固定資産に計上したリース物件のうち、平成23年1月から12月までに新たに契約した物件を含めます。
- 以下については、設備投資に含めません。
 - ・建物、構築物等の取得額に含まれる土地の取得又は改良費用
 - ・店舗併用住宅の居住用部分
 - ・中古品

11 自家用自動車の保有台数

- 自家用自動車 (いわゆる白ナンバー (軽自動車を含む。)) のうち、業務に使用する自動車について、以下の種類ごとの台数を記入してください。マイカー通勤、レジャー等のみに使用している自動車や輸送目的で使用していない建設・工事機械等の自動車は含みません。
 - 【自動車の種類】
 - 貨物自動車：貨物の輸送に使用する自動車をいいます。
人員輸送のみに使用している場合は除いてください。
 - 乗用自動車：主に人員の輸送に使用する自動車で、乗車定員10人以下のものをいいます。
 - バス：主に人員の輸送に使用する自動車で、乗車定員11人以上のものをいいます。
- リースで借りている自動車についても保有台数に含めてください。

15 医療、福祉事業の収入の内訳

第1面の7欄「(ク) 医療、福祉事業の収入」について、その事業区分別の売上(収入)金額を記入してください。
(万円未満四捨五入)
金額で記入できない場合は、第1面の6欄「①売上(収入)金額」に占める割合を記入してください。
(小数点以下四捨五入)

事業区分	事業内容(説明)	売上(収入)金額						又は割合(%)		
		千億	百億	十億	億	千万	百万		十万	万円
医業収入	保険診療収入				2	7	0	0	0	金額で記入できない場合は、右欄に割合を記入してください。
	保険外診療収入				3	0	0	0		
介護事業収入	施設介護収入									
	通所介護、訪問介護収入	※欄外参照								
社会保険事業収入	公的年金、公的医療保険、公的介護保険、労働災害補償などの社会保険事業									
保健衛生事業収入	健康相談施設、検査業、消毒業などの保健衛生事業									
社会福祉事業収入	児童福祉事業、老人福祉事業、障害者福祉事業、更生保護事業、その他の社会福祉事業(ただし、介護事業に該当するものを除く)									

※居宅サービス(訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所介護、通所リハビリテーション、福祉用具貸与、短期入所生活介護、短期入所療養介護、居宅療養管理指導、指定施設入居者生活介護)、居宅介護支援、地域密着型サービス(夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設サービス)

15 医療、福祉事業の収入の内訳

● 第1面の7欄「(ク) 医療・福祉事業の収入」に記入した売上(収入)金額の合計額について、その収入額(金額での記入が困難な場合は、6欄「①売上(収入)金額」に占める割合)を、「事業内容(説明)」欄を参考に事業区分別に記入します。

16 医療、福祉事業の収入の相手先別収入割合

- この事業所で行っている「医療・福祉」事業について、その収入を得た相手先の割合を記入します。
- 【①個人(一般消費者)】
一般消費者から得た収入について記入します。保険診療収入を含みます。事業所から得た収入は含めません。
- 【企業・団体②民間】
「企業・団体③公務(官公庁)」以外との取引などによる収入について記入します。
国及び地方公共団体が直接経営する現業の事業所(水道局、交通局、病院、学校、社会福祉施設など)を含めます。
- 【企業・団体③公務(官公庁)】
国、地方公共団体の国家事務や地方事務を行う事業所との取引などによる収入について記入します。
- 【④海外取引】
自社名義で取引を行った国際取引による収入について記入します。

16 医療、福祉事業の収入の相手先別収入割合

第1面の7欄「(ク) 医療、福祉事業の収入」について、その収入を得た相手先別の割合を記入してください。
(小数点以下四捨五入)

収入を得た相手先	収入額割合(%)	
① 個人(一般消費者)	1 0 0	
企業・団体	② 民間	
	③ 公務(官公庁)	
④ 海外取引		
① ~ ④ の合計	1 0 0	

・保険診療収入については、収入を得た相手先は「①個人」となります。

・「③公務(官公庁)」とは、国や地方公共団体の国家事務、地方事務を行う事業所をいいます。

・国、地方公共団体が直接経営する現業の事業所(水道局、交通局、病院、学校、社会福祉施設など)は、「②民間」に含めて記入してください。

17 事業所の形態、主な事業の内容

下表の中から該当する番号を1つ選択し、○で囲んでください。
 複数の施設を併設している場合や複数の事業を行っている場合は、主なもの番号を○で囲んでください。

事業所の形態・事業内容	番号	内容例示
病院	①	20人以上の患者を入院させるための施設を有している医薬事業所
	2	20人以上の精神病患者を入院させるための施設のみを有している医薬事業所
一般診療所	③	19人以下の患者を入院させるための施設を有している医薬事業所
	4	患者を入院させるための施設を有しない医薬事業所
歯科診療所	5	
助産・看護業	6	
	7	派出看護師業、訪問看護ステーション
療術業	8	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師・柔道整復師の施術所
	9	太陽光線療法業、温泉療法業、催眠療法業、視力回復センター、カイロプラクティック療法業
医療に附帯するサービス業	10	
	11	アイバンク、腎バンク、骨髄バンク、衛生検査所、滅菌業（医療用器材）、臨床検査業
健康相談施設	12	結核予防会健康相談所、結核集団検診業
	13	精神保健福祉センター、精神健康相談所
	14	母子健康相談所、母子健康センター
	15	保健師駐在所、市町村保健センター、農村検診センター、健康科学センター
その他の保健衛生	16	寄生虫卵検査業、水質検査業、食肉衛生検査所
	17	物品消毒業、電話機消毒業
	18	犬管理所、犬管理事務所
社会保険事業団体	19	健康保険組合、健康保険組合連合会、社会保険診療報酬支払基金、国民年金基金、企業年金基金、農業者年金基金
児童福祉事業	20	保育所、託児所
	21	乳児院、母子生活支援施設、児童厚生施設（児童館）、児童養護施設、知的障害児施設、盲ろうあ児施設、情緒障害児短期治療施設、児童家庭支援センター、母子福祉センター
老人福祉・介護事業	22	特別養護老人ホーム、介護老人福祉施設
	23	
	24	老人デイサービスセンター、老人短期入所施設、小規模多機能型居宅介護事業所
	25	訪問介護事業所、訪問入浴介護事業所、夜間対応型訪問介護事業所
	26	認知症高齢者グループホーム
	27	有料老人ホーム
28	養護老人ホーム、軽費老人ホーム（ケアハウスを含む）、老人福祉センター、高齢者生活福祉センター、老人憩いの家、老人介護支援センター、地域包括支援センター	
障害者福祉事業	29	障害者支援施設、ケアホーム、グループホーム、福祉ホーム
	30	生活介護事業所、自立訓練事業所、地域活動支援センター
その他の社会保険・社会福祉・介護事業	31	更生保護施設、更生保護協会
	32	社会福祉協議会、共同募金会、善意銀行、授産施設、年金積立金管理運用、宿所提供施設、婦人・女性相談所

17 事業所の形態、主な事業の内容

- 事業所の形態・主な事業内容について、「内容例示」を参考に32種類の中から選び、該当する番号を○で囲んでください。
- 複数の施設を併設している場合や複数の事業を行っている場合は、主たる事業所の形態・事業内容を一つ選択して記入してください。

訪問看護ステーション併設の病院の場合

訪問看護ステーションを併設している病床20以上の病院（精神科病院を除く）の場合は、「一般病院」番号1を○で囲んでください。

高齢者複合福祉施設の場合

特別養護老人ホーム、認知症老人グループホーム、老人デイサービスセンター、老人介護支援センターなどを同一施設内に開設している高齢者複合福祉施設は、主な事業内容に該当する番号を○で囲んでください。